

平成 25 年 9 月号

今月の断酒表彰

M	・	T	さん	南千里支部	断酒三ヶ月
O	・	H	さん	吹田支部	断酒六ヶ月
S	・	K	さん	南千里支部	断酒一年
K	・	H	さん	吹田支部	断酒六年
H	・	K	さん	南千里支部	断酒十四年
O	・	T	さん	吹田支部	断酒十八年
K	・	A	さん	南千里支部	断酒十九年



平成 25 年 9 月 1 日発行 127
 編集・発行 事務局・広報部
<http://suitashi-danshukai.com>

9 月 1 日は大阪府断酒会の記念大会です。記念大会は、総会も兼ねております。本年度は、吹田から 3 名の表彰者がおり、大会の前には、「アルコール健康障害対策基本法制定を願う集い」があります。みんなで盛り上げましょう。

断酒表彰おめでとうございます。ますますのご活躍を期待いたします。

【よりよい断酒生活を送るために 6】

断酒会の(リーダー)とは

断酒会は平等性を大切にしていますが、円滑な活動をするためには「役員」が必要になります。

平等性を保ち、役員として活動するためには、どのような考え方で役割を担えば良いのでしょうか。

断酒会役員は、世間でいうリーダー(指導者)ではありません。

断酒会運営を行うための「世話役」という役割を担っていると理解することが望めます。

平等だと言いながら、多くの役割を担うことに疑問を感じている役員さんもいるはずです。

このことは、貴方が入会した時のことを考えると納得できると思うのです。

入会当初先輩方が、今の貴方の役割を担っていたのではないのでしょうか。

現在、時は過ぎ、今、貴方がその役割を担わせてもらおうと考えてみれば如何でしょう。

上記の考え方で役割をこなし、次の「担い手」にバトンタッチすることも断酒会役員の大きな役割であると思います。

最後に

断酒会には、常に新しい人が入ってきます。また、再入会の人たちもいます。

断酒会が大切にしていきたいことを伝え続けることが大事です。「断酒会での常識」として捉えるのではなく、お互いに、確認しながら活動を展開することが、「よりよい断酒生活」につながり、断酒会に身を置くことで癒やされ、「断酒新生につながっていく」ものと思います。

断酒に思う(42) 体験談 5

「断酒会」に参加させていただいて

南千里支部 ^(ペンネーム) 釈 正法 さん

お神酒とまで言うほどのお酒。人類とアルコールの縁は深い。

キリストの最初の奇跡はカナの婚礼での水をワインに変えたこと。

イスラムでは絶対の禁酒。タバコと同様に不良のすること。

何が好きとって「酒」を私は第一にあげる。ただ糖尿病を病んでしまい、カロリー制限が課せられ、やめない訳にはいけない事と成ってしまった。命がけです。今後世界では脳の研究が進んで、アルコールではない快楽が発見されるかもしれない。

しかし、それを待っていても始まらない。

「酒」は人を飲み込んでいく。

落語にも百薬の長、命を削るかな水と正反対の登場がある。けしからないのは理性のコントロールが効かなくなる。

現在の所、飲酒をやめるほかはない。

酒乱には少し警察は甘い。虎箱にぶち込まれ 朝食を御馳走になり、始発電車で反省しながら帰途につく。最近はこの猛者が減ってきたような。

大変に良いことにです、飲み屋がどんどん減ってきている。アベノミクスなどと言って銀行に安く融資させようとしても、生産物が売れると思わねば企業はお金を借りない。お金がじゃぶじゃぶになって悪性のインフレが起こる。生活が苦しくて「酒」どころでなくなっても、アル中は娘を売ってでも「酒代」を得るでしょう。

断酒会を私はある甘えの会のように思う。今の所そんな気がします。

今後ともよろしく願いいたします。

